

政策・施策名	指標名	指標説明
(9) 歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築	㉔ 互いが尊重しあいすべての人が自分らしく生きることができ、社会を実現する	フォーラム・市民講座・DV講演会の参加人数★ ○ 行政と各種団体が連携し実施している啓発事業の参加人数。 ○ 2018年度(平成30年度)をベースに人口減を鑑み、現状維持を目指します。
		女性問題相談・女性専門相談の件数★ ○ 男女共同参画社会の実現に向けて、個人より相談を受けた相談件数。 ○ 2018年度(平成30年度)をベースに人口減を鑑み、現状維持を目指します。
	㉕ 歴史文化遺産を保存継承し未来に向けて活用する	文化財公開施設(6箇所)の入館(園)者数★ ○ 文化財公開施設(赤穂城跡本丸櫓門、近藤源八宅跡長屋門、旧坂越浦会所、赤穂市立有年考古館、東有年・沖田遺跡公園、有年原・田中遺跡公園)入館(園)者数。 ○ 2019年度(令和元年度)の直近3年間の平均値を2030年度(令和12年度)目標値として目指します。
		赤穂城跡二之丸庭園整備の進捗率★ ○ 赤穂城跡公園は城壁、土塁や種々の遺構が存在し市民の憩いの場、観光資源、赤穂市のシンボルとして重要な位置を占めており、これらの保存活用を図ることを目的としています。 指標は、赤穂城跡二之丸庭園整備の進捗率で、全体事業費に対して整備済み事業費の割合。 ○ 2018年度(平成30年度)72.2%、2025年度(令和7年度)95.0%、2030年度(令和12年度)100%を目指します。
		市民1人当たりの文化会館利用回数★ ○ 文化会館の入場者数を市民1人当たりで積算した利用回数。 ○ 2030年度(令和12年度)に2.6回を目指します。
	㉖ 地域の多様なコミュニティ活動を活性化	まちづくり連絡(推進)協議会活動の延べ参加人員★ ○ まちづくり協議会が実施する事業への参加者数。 ○ コミュニティ活動の活性化の指標として、2018年度(平成30年度)をベースに参加者の増加を目指します。
コミュニティセンター等(2箇所)の延べ利用人数★ ○ 福浦コミュニティセンター、有年原校区多目的施設の利用者数。 ○ コミュニティ活動の活性化の指標として、2018年度(平成30年度)をベースに利用者の増加を目指します。		
(10) 市民と協働する市政運営の推進	㉗ 市民に関われた健全で効率的な行政運営を推進する	電子申請の利用状況★ ○ 電子申請の利用件数。 ○ 電子申請を行う手続きを増やすことにより、申請件数の増加を目指します。
		マイナンバーカードの交付率★ ○ 行政サービスのオンライン化推進の進捗状況を見る上で、電子申請等の本人確認で必要となるマイナンバーカードの交付率。 ○ 2025年度(令和7年度)に、96.0%を目指します。
		ホームページの年間アクセス件数★ ○ ホームページ(全ページ)のアクセス件数。 ○ SNSでの情報発信を行うことで、ホームページへのアクセス数が増加しており、2030年度(令和12年度)に4,000,000件を目指します。
		市長との直接対話集会等★ ○ 市長と直接対話する集会の開催件数。 ○ 地域からの要請に応じた「ミニ集会」として開催し、2018年度(平成30年度)をベースに増加を目指します。
		実質公債費比率★ ○ 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に定める指標。 ○ 財政計画をベースに算出。
		将来負担比率★ ○ 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に定める指標。 ○ 財政計画をベースに算出。